





東海中新聞

NO. 376
令和4年10月号

**さり気ない
気配りに**
 校長 今枝武司

総合病院に行った時のことです。車を降り、足を引きずりながら駐車場に置いてある車椅子までたどり着きました。車椅子に腰を下ろすと、警備員さんがやってきて、さりげなく「押しますよ」と言われました。「ここは微妙に坂道なので、大変なんです。受付まで押しますね」と言われました。受付までは五十mくらいあるかと思いますが、やさしい声で話しながら押してくださいました。こちらが素直に「お願いします」と言える雰囲気を作ってくださいましたのがありがたかったです。

休日診療の病院に行った時の看護師さんの対応に感激したこともありまして。休日診療ですから、かかりつけ医ではなく、初めてのことでドキドキしていました。看護師さんは視線を寝ている自分の目の高さに合わせて、目を見て、まるで幼児や小学生に言うように「痛かったですね。もう大丈夫ですよ。力を抜いて楽にしてくださいね」とや

さしく語りかけてくださいました。強張った表情も和らぎ、身をゆだねようという気持ちになりました。

東海中学校も同じように、教職員全員のやさしさと全生徒を包もうとしています。私が出会った警備員さんや看護師さんは、それをさり気なく自然にやってくれたことに頭が下がる思いです。

今夏、東北地方を旅行しました。レンタカーを借りて旧所名跡を回り、初めて目にする風景に感激もひとしおでした。時間を忘れて巡っていたので、気づけばレンタカー返却時間が迫っていました。レンタカー事務所までまだ距離があり、飛行機の時間もギリギリのところ。パニックでした。すぐにレンタカー事務所連絡すると、「慌てなくても大丈夫です。先に空港に行ってお連れ様に飛行機の手続きを行ってもらってください。返却はその後で、ガソリンも入れなくて大丈夫です。走行距離だけ教えてください。気を付けてお越しください」と言われました。焦っていた気持ちですが、この一言で和らぎました。

みなさんに迷惑かけっぱなしだなと思う反面、さり気ない気配りや飾り気のないやさしさにふれることが多く、ありがたいと感じる今日この頃です。

新人戦の結果

団体の部
男子バスケットボール部 優勝

対六美北 五七―四七勝利
 対城北 六二―五五勝利
 対美川 三八―三〇勝利
 決勝 対甲山 四〇―三九勝利
 男子バレーボール部 準優勝

対北 二―〇勝利
 対新香山 二―〇勝利
 決勝 対矢作 〇―二惜敗

個人の部
男子陸上部

優勝 二〇〇m

女子陸上部
第三位 走り高跳び

最高のチームへ 男子バスケット部

新チームで行う初めての公式戦、新人戦。僕たちは優勝をした。それは、チーム全員が新人戦優勝を信じ、全力で練習に取り組んできたからだと思う。僕たち男子バスケット部は、お互いをチームの仲間であり、ライバルであると考えている。だからこそ僕たちは、自然と団結力が強まっていったのだと思う。

新人戦は全試合、点差がごくわずかだった。試合中逆転されることも

あった。しかし僕らは最後まで、チーム全員が勝利を諦めていなかった。だから優勝をつかみとることができたのだと思う。

僕たちの挑戦はまだ始まったばかり。この結果で満足せず、県大会出場のために、日々最高の練習をしていきたい。勝負はここからだ。



準優勝の悔しさ 男子バレー部

新人戦を終えて、まず感じたことはうれしかった反面、悔しさがありました。

新チーム結成から新人戦まで、一人一人が練習に全力で取り組み、たとえきつなくても、チーム全員で支え合い、頑張ってきました。

準決勝では市長杯で負けた学校に勝ち、チーム全体は絶対優勝するという気持ちであふれていました。

決勝戦では、序盤から終盤まで、僕たちの本来のバレーができず、準優勝に終わりました。自分たちの流れになれば、勝てない相手ではありません。この結果で満足せず、東海中バレー部が一番、勝ちたいという欲にあふれたチームでありたいです。

体育大会 東風

体育大会を終えて
体育委員長

コロナの影響でいろいろと制限されている中、今年は三年ぶりに盛大な体育大会を開催することができました。

僕が言った宣誓の中には感謝という言葉があります。それは、体育大会に関わってくれた全ての人たちへの感謝です。自分たちだけでは体育大会は成り立ちません。そのため、それももう一度全校生徒で確認するために、感謝という言葉を使いました。

もう一つ、僕が心に残ったことは、実行委員を中心に練り上げてきた東風です。誰一人取り残さないように全員が最後まで声をかけ合ってきました。本番で、演技を終えた後、周りから拍手が聞こえた時、自分たちの頑張りが実を結んだと実感しました。

来年、どういう状況になるか予想がつきませんが、今年よりも盛大な体育大会をしてほしいという思いを後輩たちに託します。



未知なることへの挑戦 東風実行委員長

僕たち三年生の学年テーマ「トラベラーズ」に込められた願い、それは未知なることへの挑戦です。

今回の東風はこのテーマのように、今のこの三年生だからできる東風を目指して、実行委員を中心に夏休みから準備をしてきました。

何度も演技の練習をしていく中で立ち上がるタイミング、旗の角度や上げ下げなど、いかにそろえることができるかが、練習の一番の課題となりました。

体育大会本番では、練習してきたどの演技よりも息のそろった東風になりました。支えてくださった先生方、応援してくださった皆さん、ありがとうございました。

後期生徒会役員

生徒が創り上げる学校
生徒会長

私は学校のイメージを「決められたことを守る場所」から「自分たちで考えて行動する場所」へと変え、生徒が創り上げる学校を目指していきます。そのためにも様々な立場の人の意見に耳を傾け全力で応えていきます。

先輩方や前期生徒会役員が進めてきた東中改革をさらに進め、より良

い学校になるように一生懸命取り組みでいきたいです。ご協力と応援をよろしく願います。

楽しめる学校にするために

三年執行委員

僕が生徒会執行委員に立候補した理由は、コロナ禍で給食などいろいろなことが制限され、学校の楽しいことが減ってきていることがきっかけです。そこで、僕の公約です。コロナ禍で制限されている中、より面白く楽しい時間を増やし、学校に来ることが楽しいと思えるようにしていきたいと考えています。

生徒会役員になって

三年執行委員



誰一人取り残さず、生徒全員が楽しめる学校にしていきたいです。残りわずかの今の学年での学校生活を最後まで全力で楽しませよう。

ずっと興味のあった生徒会に中学生最後のチャンスとして挑戦しました。生徒会役員として、他の役員と協力し、学校全体を見て私の目指す学校像である「生徒中心、楽しく明るい学校」にしていきたいと思えます。そのため「笑ってブレイク」を実施し、生徒全員の意見をできるだけ取り入れたいです。協力お願いします。約半年間、頑張ります。よろしく願います。

生徒一人一人が輝ける場所を

三年執行委員

私はこの東海中学校で一人一人が輝ける場所を作っていきたいです。そのためにはまず、東海中学校のすごい所、頑張っていることを知ってもらふ必要があると思いました。そうすれば、仲間の新しい一面を知ることができ、さらに東中生同士が応援し合える機会ができるので、自信にもつながっていくと思います。みなさんの期待に応えられるよう精一杯頑張っていきたいと思います。

ジェンダーレスな学校を目指して

三年執行委員

今まで、男らしさ・女らしさというような概念に違和感をもって生活してきました。それに自ら取り組んでいけるチャンスが無駄にしたいくないと思い、公約として「ジェンダーレス化」を掲げ、立候補しました。ジェンダーレス化に向けて改革し全員が過ごしやすい学校を目指してさらに進化させていきたいです。

担任の先生と推薦責任者のサポートや、全校生徒の投票に感謝し、全力で活動に取り組んでいきます。

当たり前を見直す

二年執行委員



「東海中の当たり前をもう一度考えましょう」

私は生徒会選挙の時、そう言って、全校の皆さんの前で話しました。後期生徒会役員として、東海中が本当の当たり前を見つけ出す手伝いができるといいなと思っています。

私たち東中生が、毎日を自信をもって生活できるような「当たり前」は何か、見つけることは簡単なことではないと思うけど、あせらずに一つ一つ丁寧に目の前の常識に目を向けていきたいです。

楽しめる学校へ

二年執行委員

今回、生徒会役員になれたことで、自分なりに学校がより良くなっているように頑張っていきたいです。例えば、東中生全員でレクリエーションを行うなど、自分から積極的に行動し生徒会の活動や皆さんのサポートに貢献していきたいです。

前期生徒会役員の後をしつかりと継ぎ、さらに皆が毎日を楽しく学校に来てもらえるような学校づくりを目指していきます。

自分の目標

一年執行委員

僕は生徒会役員として、生徒の代表となれるように頑張っていきたいです。そして、同じ学年以外の人との交流ができる機会を増やし、全校が明るく元気な学校づくりを目指しています。

また、僕の公約にもあった全校で楽しめるレクリエーションを実現できるように努力していきます。他にも文化祭などの行事をスムーズに進むようにしていきたいです。

全員が笑顔な学校を

一年執行委員



私は、「全員が明るく、楽しめる学校」にしたいと思っています。そのため、全校レクリエーションやいじめを無くそうプロジェクトなどをしていきたいと考えています。全校レクリエーションで全力で楽しみ、いじめゼロの学校になるといいなと思います。まずは文化祭を全校が全力で楽しめる文化祭にしたいと思っています。全員が笑顔で学校へ来られるよう、これからのいろいろな活動を楽しみながら頑張りたいです。

令和 4 年度後期生徒会役員

生徒会会長

3 年執行委員



2 年執行委員

1 年執行委員

【生徒会テーマ】
TOKAロード
意志ある所に
道は開ける

東中PTAだより

東海中PTA
広報委員会
第216号

体育大会観戦記

眼差しの前に

三年生 保護者

前日までの雨でグラウンドの状態が心配だった体育大会でしたが生徒と先生方で整備をし、時間を遅らせ無事に開催されました。

競技が進む中で、楽しそうな笑顔、仲間への声援で生徒達が楽しんでいる事を実感しました。

そして、「東風」では、三年生が旗を持ち、真剣な眼差しで演技し、一・二年生はクラス毎の席で静かに観覧し、静かな中で旗を振る音がとても印象に残り、感動しました。一、二、三年生それぞれの真剣な眼差しが生徒の成長を感じて、いい体育大会になったと思います。



活気を感じた体育大会

二年生 保護者

秋雨の合間、開催された体育大会。今年も様々な制限が続く中でしたが、子ども達の楽しそうな姿を見ることができました。

障害物競走とリレーを組み合わせた「走れ！TOKAIRoad」では、足の速さや運動能力以外の要素もあるので応援する側も盛り上がっていました。体育が苦手だった私。当時このような競技があれば楽しく参加できただろうなと思いました。

来年は三年生。息子達の代はどんな「東風」を作り上げていくのか、今からとても楽しみです。

行事のすばらしさ

二年生 保護者

心配していたお天気にも恵まれ、無事開催できて本当によかったです。

子供達の真剣な表情、たくさんの笑顔、勝利を全身で喜ぶ姿、負けて悔いそうな姿、走るのが速くても遅くてもみんなが輝いていました。行事が当たり前に出来なかった彼らにとって、大切な思い出の一つとなり成長に繋がる一日になったことだと思います。又、先生方や役員さんの協力無しでは行うことは出来ないもので、生徒も保護者も感謝の気持ちを忘れてはいけないと思いました。

今後の行事でも、今しか味わえないかけがえのない時間を精一杯楽しむ姿が見られることを楽しみにしています。

体育大会

一年生 保護者

十月八日、一年生にとって初めての体育大会が行われました。どの競技も見応えがあり印象深いものでした。一年生の「全力！東海ハリケーン」では、クラスが一致団結しチームワークを発揮していました。

個人競技や、リレー、「東風」など、様々な形で生徒達の全力が見られました。特に部活動対抗・紹介リレーで

は、各部活のプライドをかけた走りが見ものでした。とても盛り上がり楽しかったです。

競技に出る子も、応援する子も、どの学年も全力で取り組んだ体育大会だったと思います。生徒一人一人が一生懸命で終始感動していました。一体感を学んだ、素晴らしい体育大会になったと思います。



●学年別総合成績

| | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | |
|------|-----|----|-----|----|-----|----|
| | 優勝 | 2位 | 優勝 | 2位 | 優勝 | 2位 |
| 男子総合 | 3組 | 4組 | 1組 | 4組 | 3組 | 2組 |
| 女子総合 | 2組 | 5組 | 4組 | 1組 | 2組 | 4組 |
| 男女総合 | 3組 | 5組 | 1組 | 4組 | 2組 | 4組 |

